

中間決算説明会

(2003年12月期)

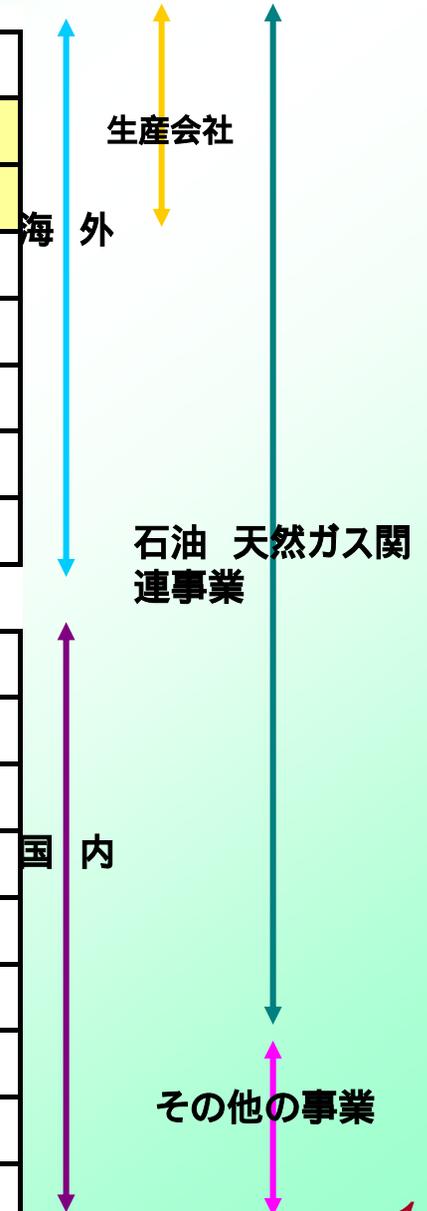
2003年8月26日

帝国石油株式会社

帝国石油(株)及び連結対象17社

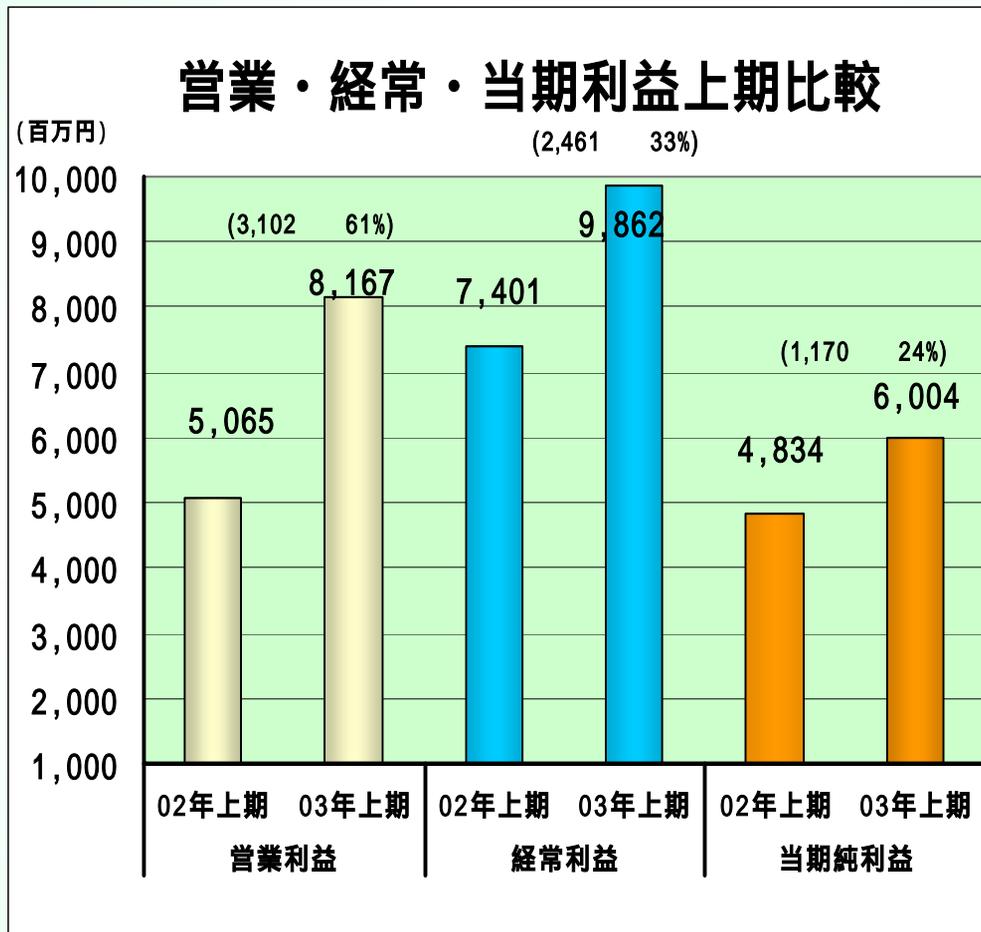
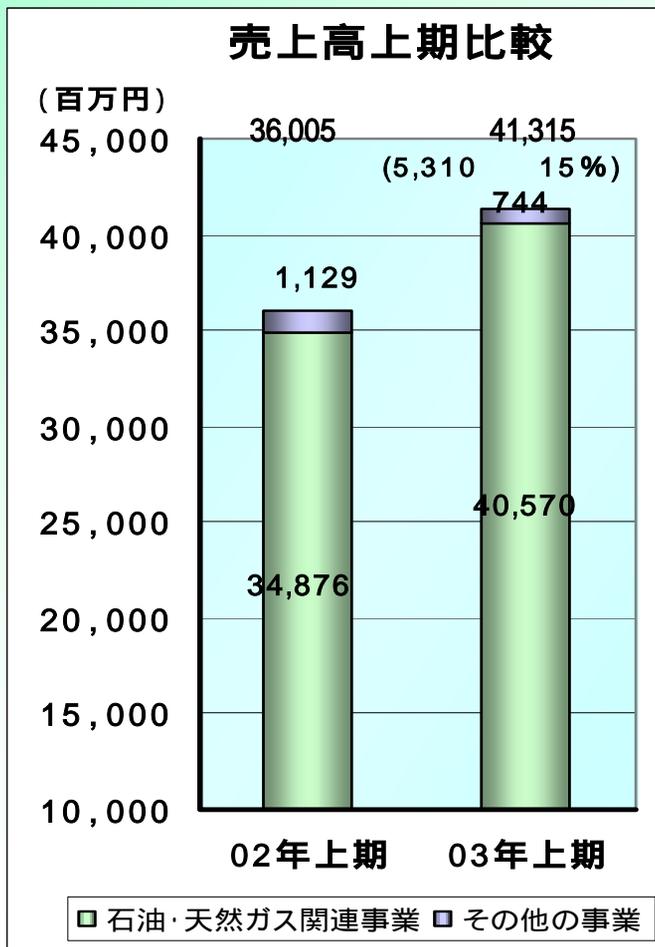
帝
国
石
油

帝石コンゴ石油 (原油生産事業/コンゴ民主共和国沖合)
ベネズエラ石油 (ガス・原油生産事業/ベネズエラ) * 持分法適用
サンビ・グエレ石油(原油生産販売事業/ベネズエラ) * 持分法適用
帝石アルジェリア石油 (探鉱事業/アルジェリア)
帝石エル・オアール石油 (探鉱事業/アルジェリア)
テイコク・オイル (ガルフ・オブ・メキシコ)カンパニー・リミテッド(探鉱事業/アメリカ)
テイコク・オイル SCT エクスプロレーション B.V.(探鉱事業/ベネズエラ)
テイコク・オイル・カンパニー・パナマ (海外原油販売)
帝石パイプライン (ガス輸送・ライン保守)
帝石プロパンガス (LPG販売)
帝石トッピングプラント (石油精製・石油製品貯蔵及び入出荷)
磐城沖石油開発 (原油・ガス生産販売事業/福島県磐城沖)
埼玉ガス (都市ガス事業)
帝石物流 (物流事業)
帝石不動産 (不動産関連事業)
帝石削井工業 (土木・掘削工事)
第一倉庫 (倉庫業)



中間決算概要(対前上期)

天然ガス(帝石・磐城沖石開)、原油(コンゴ事業)の売上高の増加による増収増益



主要会社2003年上期決算概況

	連 合	結 計	単体ベース (百万円)		
			帝 国 石 油	磐城沖石油開発	帝石コンゴ石油
売 上 高		41,315	32,067	2,272	4,743
売 上 原 価		22,634	19,040	683	1,966
探 鉱 費		1,720	1,716		4
販 管 費		8,792	7,323	70	174
営 業 利 益		8,167	3,987	1,517	2,598
営 業 外 収 益		2,210	2,683	2	216
営 業 外 費 用		516	323	7	8
経 常 利 益		9,862	6,348	1,512	2,806
特 別 利 益		185	193		8
特 別 損 失					
税金等調整前当期利益		10,047	6,541	1,512	2,815
法人税等		3,758	903	641	2,142
少数株主持分利益		284			
当 期 利 益		6,004	5,638	871	672

製品別売上高(対前上期)

ガス増収： 帝石、冬季の売上好調

磐城沖、火力向け販売大幅増量

原油増収： 油価高、販売量増加(コンゴ事業)

製品別売上高

	02年上期	03年上期	(百万円) 比較増減
天然ガス	15,376	18,266	2,890
LPG	921	1,060	139
原油	2,715	4,932	2,217
石油製品	15,008	15,395	387
ヨド	377	426	49
その他の石油・天然ガス	476	490	14
石油・天然ガス関連事業	34,876	40,570	5,694
その他の事業	1,129	744	385
合計	36,005	41,315	5,310

天然ガス

	02年	03年	増減
帝国石油			
都市ガス	304	356	52
(内 民生用)	(215)	(238)	(23)
直売工業	44	45	1
合計(百万m3)	348	401	53
磐城沖石油開発(百万m3)	42	74	32
販売量(百万m3)	390	475	85

原油

	02年	03年	増減
販売量(千bbl)	1,109	1,436	327
平均販売単価(\$/bbl)	20.49	28.68	8.19
為替レート(円/\$)	119.50	119.80	0.30

石油製品 / 帝国石油販売量

	02年	03年	増減
買入販売	165	171	6
(内 オイルターミナル入出荷業務分)	(113)	(110)	(3)
自社生産等	124	121	3
合計(千KL)	289	292	3

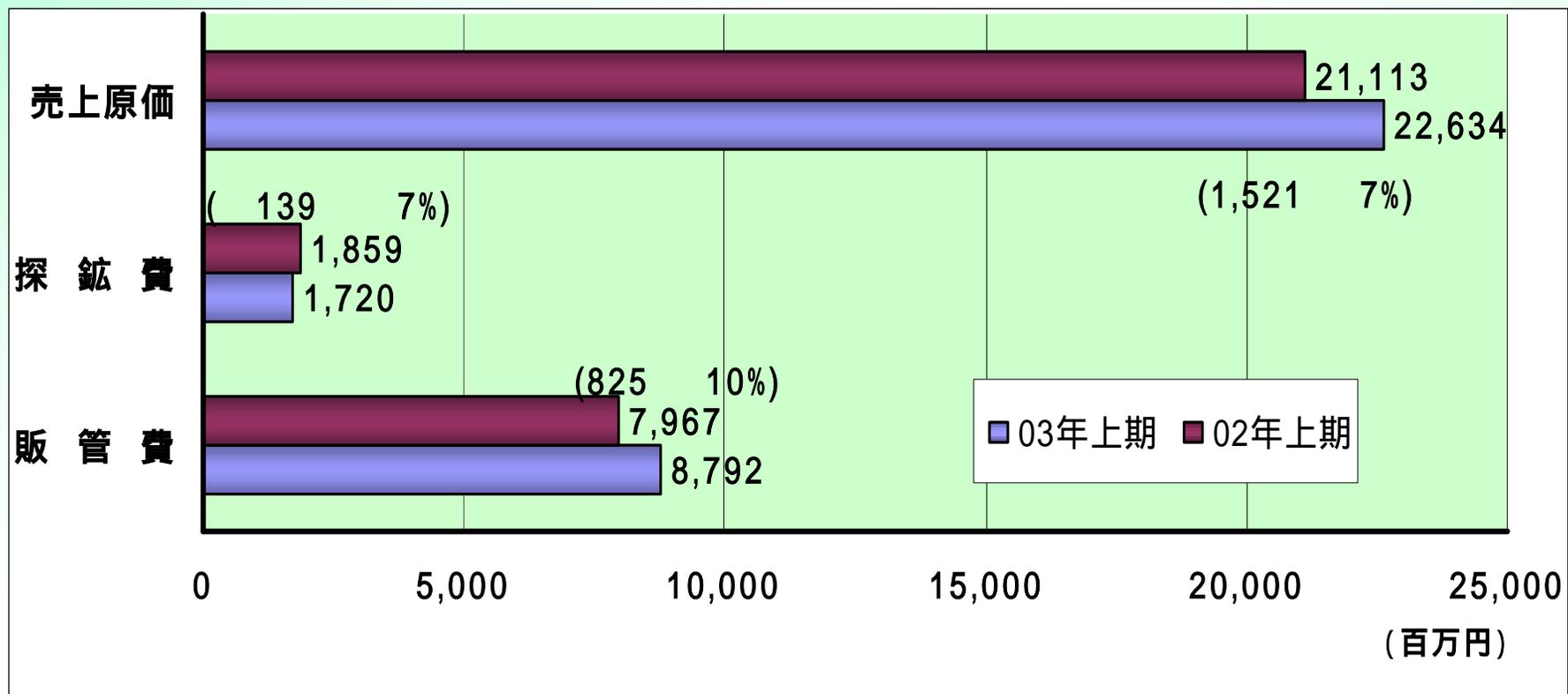
売上原価/探鉱費/販管費(対前上期)

売上原価 増加要因: 天然ガス買入5億、石油製品及び製品原料買入6億、コンゴ操業費7億

減少要因: 請負工事原価3億円

探鉱費 探鉱補助金の増加による減少

販管費 新設ライン減価償却費(松本ライン3億・入間ライン1億・甲府ライン1億)の増加



営業外損益内訳(対前上期)

- ・受取歩油歩ガスの減少
- ・海外投資等損失引当金の戻入額の減少
- ・持分法投資利益(ベネズエラ2事業)の増加

	02年上期	03年上期	(百万円) 増減額
営業外収益			
受取利息・受取配当金	459	471	12
受取歩油歩ガス	1,046	318	728
持分法による投資利益	393	982	589
海外投資等損失引当金戻入額	440		440
その他の	484	439	45
合計	2,822	2,210	612
営業外費用			
支払利息	242	226	16
海外投資等損失引当金繰入額		49	49
廃鉦費用引当金繰入額	72	26	46
その他の	172	215	43
合計	486	516	30
* 海投損繰入額純額	440	49	489
内訳 繰入額	147	81	66
戻入額	587	32	555

貸借対照表内訳(対前期末)

- ・甲府ラインの完成による振替(建設仮勘定 建物及び構築物)
- ・持分法投資利益の増加、時価評価の上昇による投資有価証券の増加
- ・設備資金の新規調達は無し

	02年12月	03年6月	増減		02年12月	03年6月	増減
流動資産	47,585	47,657	72	流動負債	23,882	18,291	5,591
				短期借入金	(4,601)	(4,642)	(41)
固定資産	156,401	156,731	330	固定負債	41,342	41,246	96
有形固定資産	110,416	106,802	3,614	長期借入金	(21,002)	(19,082)	(1,920)
建物及び構築物	(70,004)	(80,944)	(10,940)	負債合計	65,225	59,537	5,688
建設仮勘定	(16,622)	(2,763)	(13,859)	少数株主持分	2,849	3,047	198
無形固定資産	796	738	58	資本金	19,579	19,579	-
投資その他の資産	45,188	49,190	4,002	資本準備金	11,222	11,222	-
投資有価証券	(42,038)	(45,142)	(3,104)	利益剰余金	102,900	107,859	4,959
海外投資等損失引当金	(5,942)	(5,024)	(918)	その他有価証券評価差額金	2,629	3,564	935
				為替換算調整勘定	125	120	5
				自己株式	293	302	9
				資本金合計	135,911	141,803	5,892
資産の部合計	203,986	204,388	402	負債・少株・資本の部合計	203,986	204,388	402

()表示内は、内数

キャッシュフロー内訳(対前上期)

- ・税金等調整前中間純利益の増益による営業キャッシュフローの増加
- ・新ライン建設に伴う設備投資額の減少

(百万円)

	02年1月1日 02年6月30日	03年1月1日 03年6月30日	比較増減
現金及び現金同等物期首残高	34,001	23,020	10,981
営業活動キャッシュフロー	7,925	13,045	5,120
税 前 中 間 純 利 益	(7,478)	(10,047)	(2,569)
減 価 償 却 費	(3,967)	(5,038)	(1,071)
投資活動キャッシュフロー	16,657	10,924	5,733
有形固定資産取得による支出	(15,808)	(4,331)	(11,477)
財務活動キャッシュフロー	2,634	2,969	5,603
長期借入金による収入	(6,160)	(14)	(6,146)
配 当 金 支 払	(1,295)	(990)	(305)
現金及び現金同等物換算差額	54	72	126
現金及び現金同等物減少額	6,151	775	5,376
新規連結増加分	1,631		1,631
現金及び現金同等物期末残高	29,481	22,245	7,236

()表示は、内数

今回予想対比表(前期実績・期初予想)

	前期実績	期初予想	(百万円) 今回予想
売上高	73,630	75,300	79,400
売上原価	44,931	46,800	47,100
探鉱費	4,666	5,400	4,300
販管費	16,736	17,600	18,100
営業利益	7,296	5,500	9,900
営業外収益	4,331	2,600	3,400
営業外費用	883	900	1,400
経常利益	10,744	7,200	11,900
特別利益	733	300	200
特別損失	3,986	0	
税金等調整前当期利益	7,491	7,500	12,100
法人税等	2,109	1,400	4,400
少数株主持分利益	150	100	300
当期利益	5,233	6,000	7,400

売 上 高				前期実績	期初予想	(百万円) 今回予想
天	然	力	又	30,139	32,100	34,100
L		P	G	1,742	1,800	1,900
原			油	5,013	5,000	6,900
石	油	製	品	32,281	31,200	31,800
ヨ			ト	836	700	700
モ		の	他	3,616	4,500	4,000
合			計	73,630	75,300	79,400

今期売上高予想(対期初予想)

ガス増収: 帝石、工業用ガス堅調な伸び
磐城沖、火力向け販売量増加

原油増収: 油価高(コンゴ事業)

売 上 高			(百万円)
	期初予想	今回予想	増減額
天 然 ガ ス	32,100	34,100	2,000
L P G	1,800	1,900	100
原 油	5,000	6,900	1,900
石 油 製 品	31,200	31,800	600
ヨ ー ド	700	700	0
そ の 他	4,500	4,000	500
合 計	75,300	79,400	4,100

天然ガス

		期初予想	今回予想	増減
帝国石油	都市ガス	678	693	15
	(内 民生用)	(418)	(418)	(0)
	直売工業	90	93	3
	合 計 (百万m3)	768	786	18
磐城沖石油開発 (百万m3)		82	118	36
販 売 量 (百万m3)		849	904	55

原油

	期初予想	今回予想	増減
販 売 量 (千bbl)	2,143	2,167	24
平均販売単価 (\$/bbl)	19.09	26.46	7.37
為 替 レ ー ト (円/\$)	120.00	120.04	0.04

石油製品 / 帝国石油販売量

	期初予想	今回予想	増減
買 入 販 売	352	354	2
(内 オイルターミナル入出荷業務分)	(241)	(241)	(0)
自 社 生 産 等	249	249	0
合 計 (千KL)	601	603	2

今期損益予想要素内訳(対期初予想)

	(百万円)			
	期初予想	今回予想	増減額	
売上高	75,300	79,400	4,100	
売上原価	46,800	47,100	300	石油製品及び製品原料買入代 500 支払歩油歩ガス代 200 請負工事原価 400
探鉱費	5,400	4,300	1,100	海外探鉱費 1,100
販管費	17,600	18,100	500	甲府ライン償却費 400
営業利益	5,500	9,900	4,400	
営業外収益	2,600	3,400	800	持分法投資利益 600
営業外費用	900	1,400	500	固定資産除却損 300
経常利益	7,200	11,900	4,700	
特別利益	300	200	100	固定資産売却益 100
特別損失	0	0	0	
税金等調整前当期利益	7,500	12,100	4,600	
法人税等	1,400	4,400	3,000	コンゴ政府納付金 1,600
少数株主持分利益	100	300	200	
当期利益	6,000	7,400	1,400	

今回予想対比表(前期実績)

	前期実績	今回予想	(百万円) 増減額
売上高	73,630	79,400	5,770
売上原価	44,931	47,100	2,169
探鉱費	4,666	4,300	366
販管費	16,736	18,100	1,364
営業利益	7,296	9,900	2,604
営業外収益	4,331	3,400	931
営業外費用	883	1,400	517
経常利益	10,744	11,900	1,156
特別利益	733	200	533
特別損失	3,986		3,986
税金等調整前当期利益	7,491	12,100	4,609
法人税等	2,109	4,400	2,291
少数株主持分利益	150	300	150
当期利益	5,233	7,400	2,167

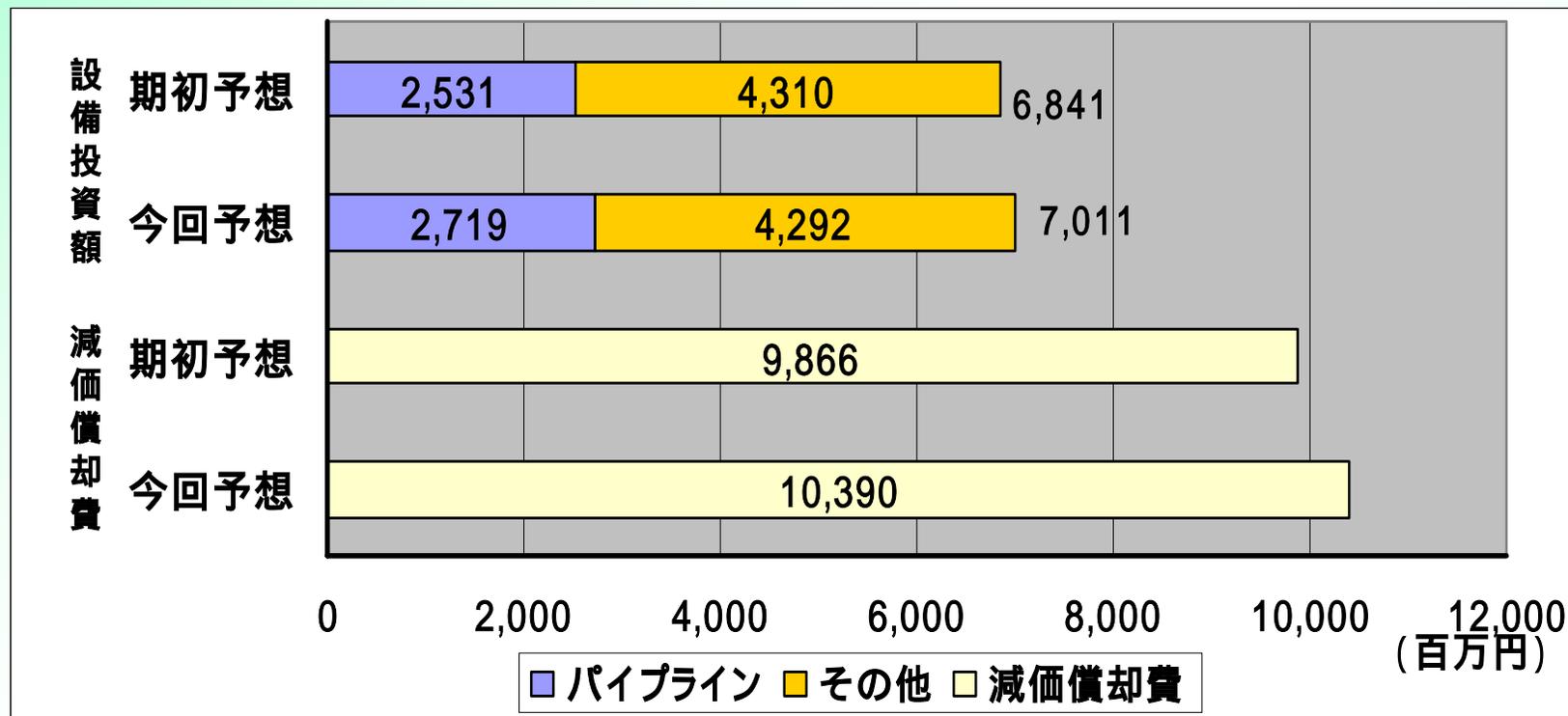
売 上 高				前期実績	今回予想	(百万円) 増減額
天	然	力	又	30,139	34,100	3,961
L	P		G	1,742	1,900	158
原			油	5,013	6,900	1,887
石	油	製	品	32,281	31,800	481
ヨ			ト	836	700	136
モ	の		他	3,616	4,000	384
合			計	73,630	79,400	5,770

今期損益予想(主要会社別)

	連 合	結 計	単体ベース (百万円)		
			帝 国 石 油	磐城沖石油開発	帝石 石 油 コ ン ゴ
売 上 高		79,400	63,400	3,600	6,600
売 上 原 価		47,100	39,200	1,400	3,100
探 鉱 費		4,300	3,500		0
販 管 費		18,100	15,200	100	400
営 業 利 益		9,900	5,500	2,100	3,100
営 業 外 収 益		3,400	2,800	0	300
営 業 外 費 用		1,400	1,200	200	0
経 常 利 益		11,900	7,100	1,900	3,400
特 別 利 益		200	200		0
特 別 利 損					
税金等調整前当期利益		12,100	7,300	1,900	3,400
法人税等		4,400	700	900	2,800
少数株主持分利益		300			
当 期 利 益		7,400	6,600	1,000	600

今期設備投資額・減価償却費

- 設備投資は計画通り
- 甲府ライン稼動開始が早まったことにより減価償却費は増加



今後の設備投資・減価償却費

主要設備投資

(単位：億円)

	投資額	運開	
入間ライン延伸建設	50	2005年	3社共同ライン(工事総額約80億円)
静岡ライン建設	200	2006年	
南富士幹線建設	27	2006年	
発電施設建設	50	2005年	
南長岡プラント増強	70	-	
			2002年～2006年に処理能力を増強

減価償却費見通し

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
総計	104	102	97	97	107
内訳					
帝国石油	77	75	76	76	86
既存等	71	64	62	56	52
甲府ライン	6	9	9	9	9
入間ライン延伸			2	4	4
静岡ライン				1	13
発電			1	3	3
南長岡プラント増強	0	2	2	3	5
磐城沖石油開発	6	6			
その他の会社	21	21	21	21	21

注) 上記主要設備投資以外は、現状維持ベース。又、帝国石油及び磐城沖石開以外の会社は、償却費現状維持として算定している。

国内天然ガス事業の基盤整備

パイプラインネットワークの拡充

- ・甲府ライン稼働開始(5月)
- ・入間ライン延伸(～2005年)
- ・静岡ライン、南富士幹線(～2006年)
総延長約1,200kmのネットワークへ

LNG袖師基地(静岡ガス)との連携

- ・LNG導入は2010年頃～
- ・ソース多元化、価格競争力の維持

生産体制の整備

- ・南長岡ガス田の生産能力増強
(～2006年 10億m³/年へ)

埋蔵量拡大の可能性

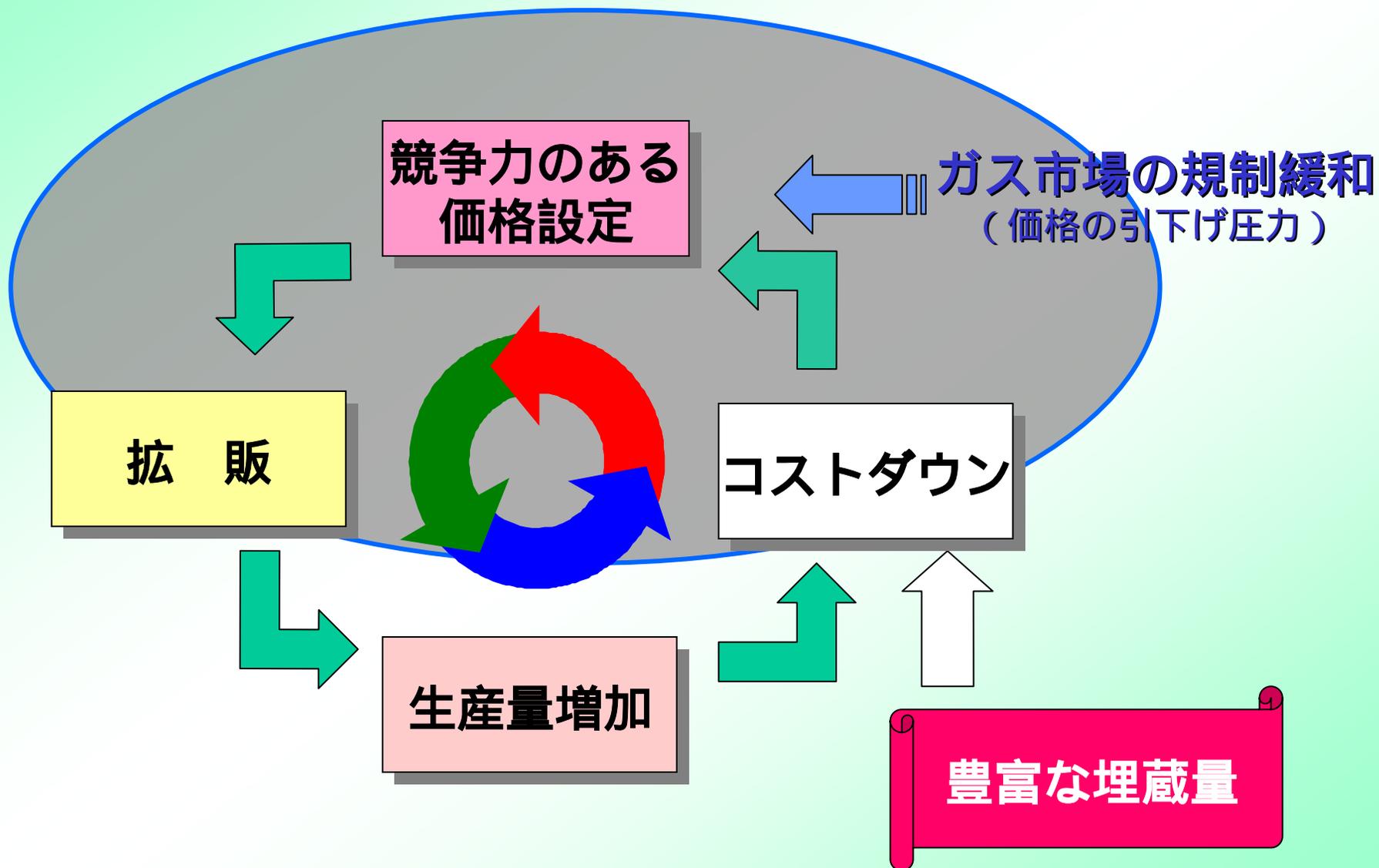
- ・南長岡ガス田周辺の探鉱推進



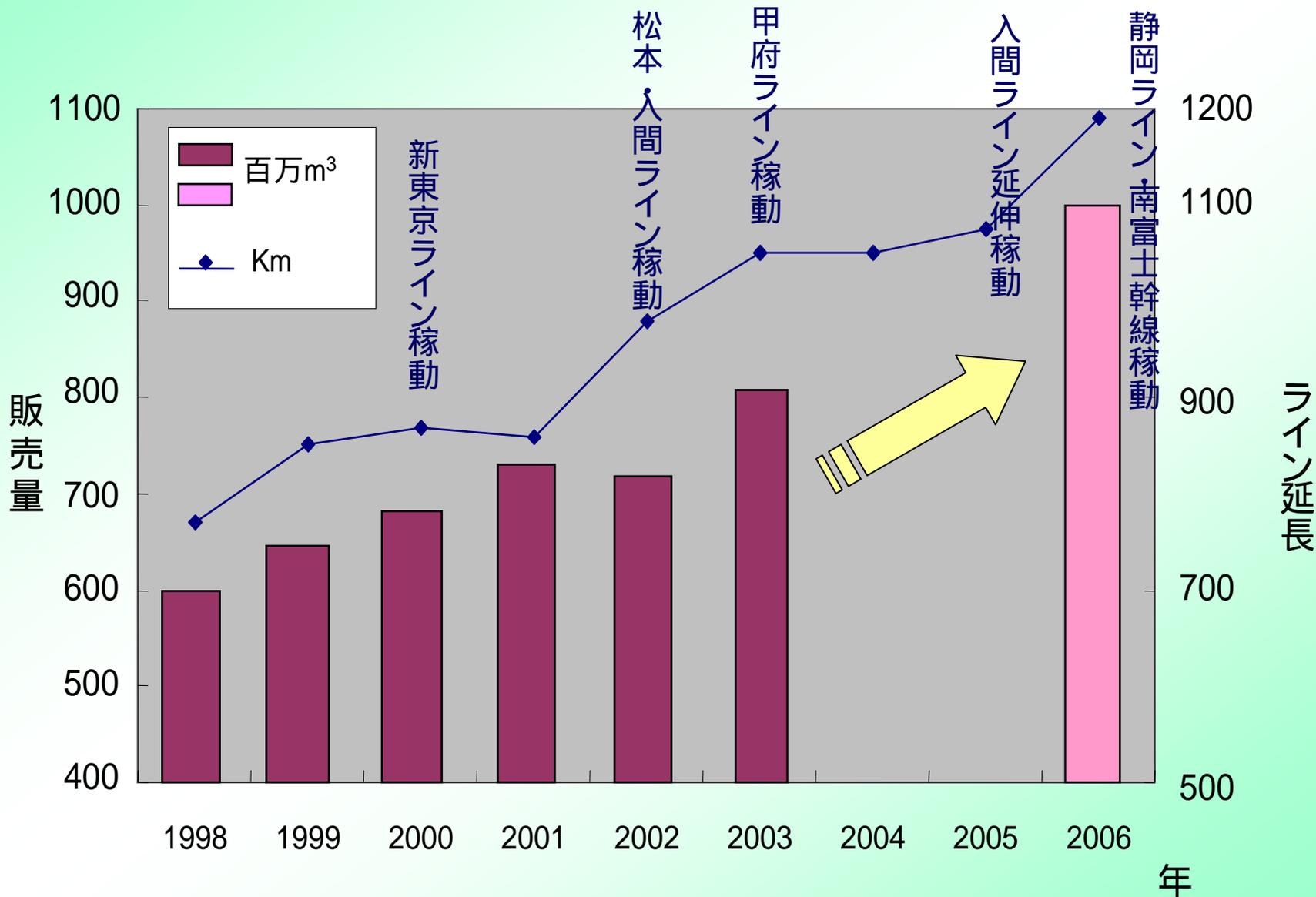
2006年販売量10億m³の達成

確固たるキャッシュエンジンへ

天然ガス拡販の基本戦略



パイプライン延長とガス販売量

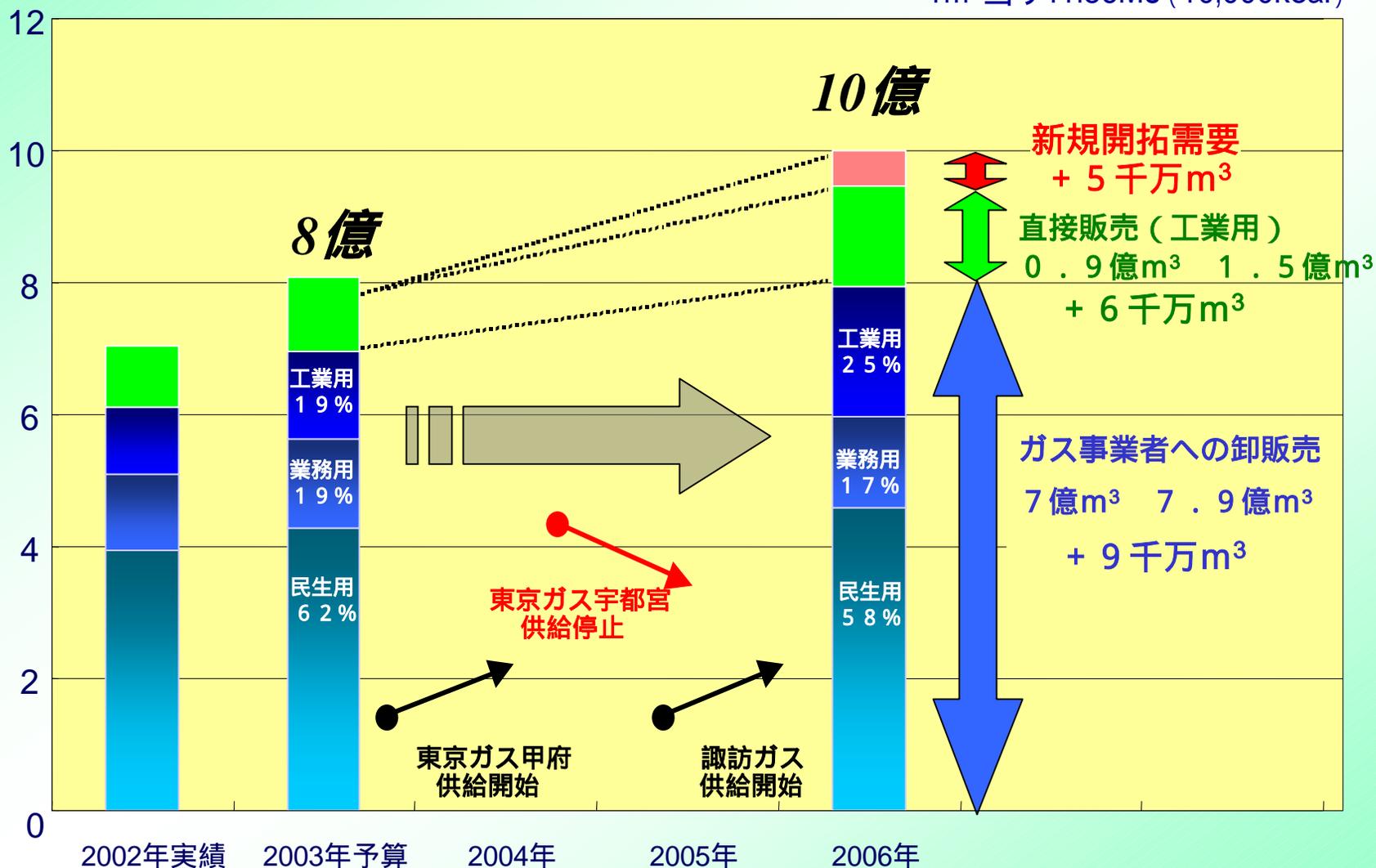


1m³当り41.86MJ (10,000kcal)

天然ガス拡販見通しの内訳 (帝石単体)

単位：億m³

1m³当り41.86MJ (10,000kcal)



海外プロジェクト

ベネズエラ
(ガス処理プラント)



アルジェリア オハネットプロジェクト

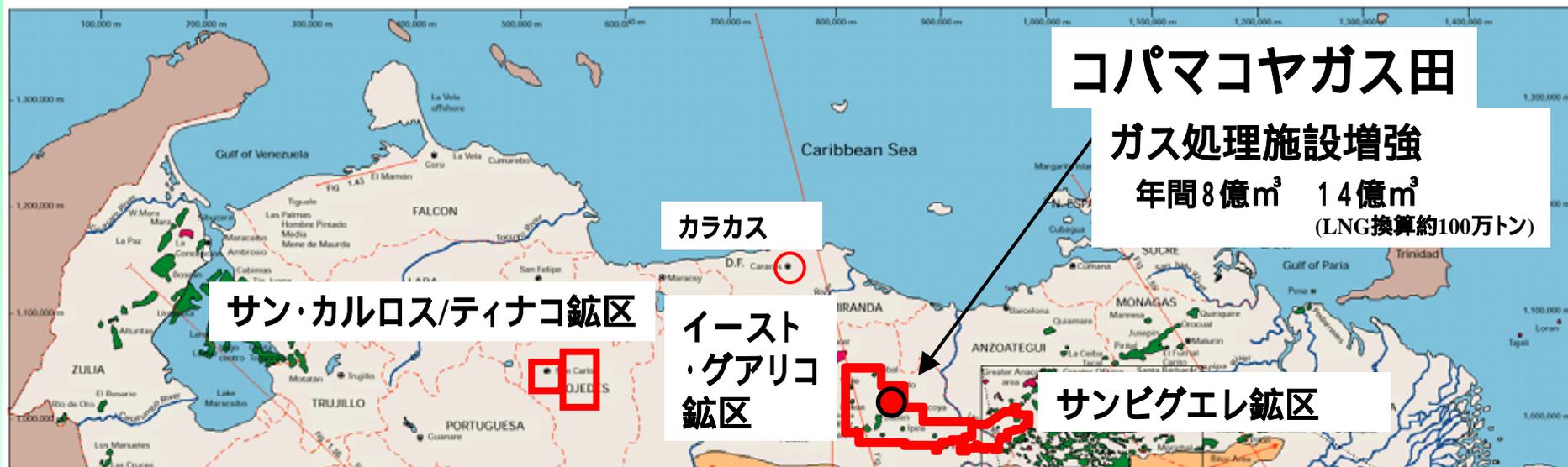


マレーシアプロジェクト

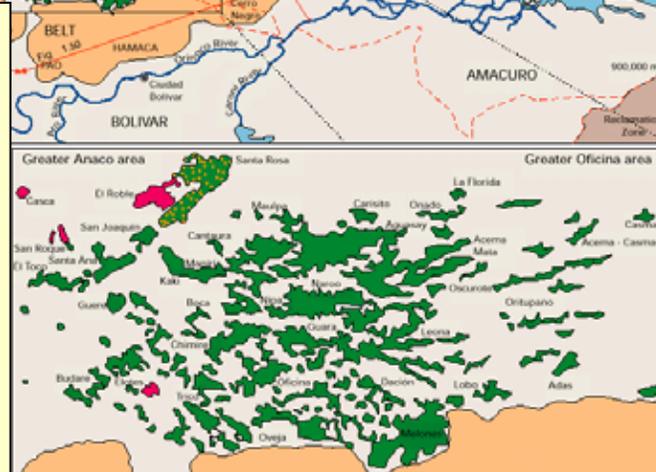
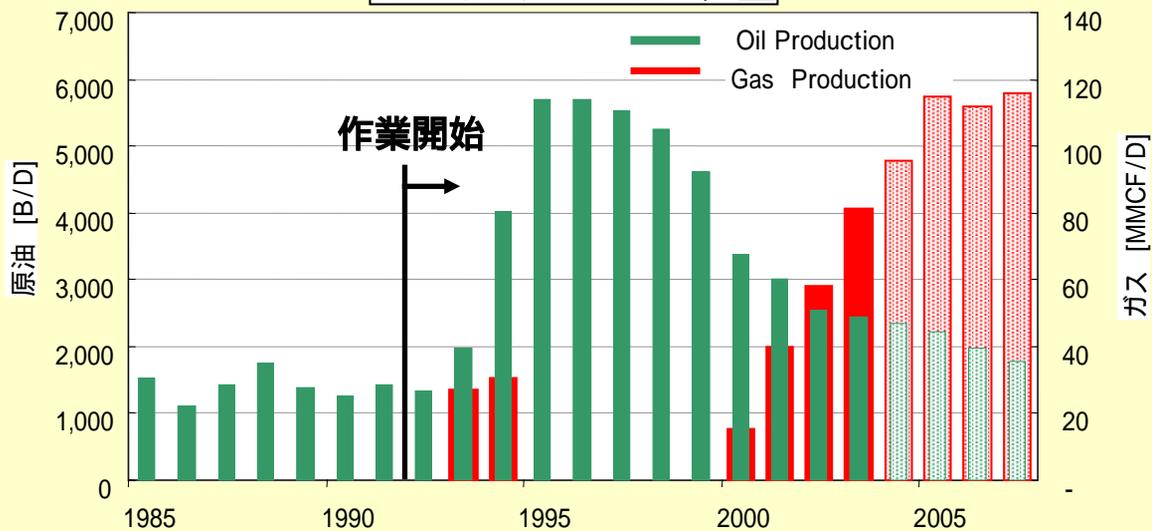


海外プロジェクト

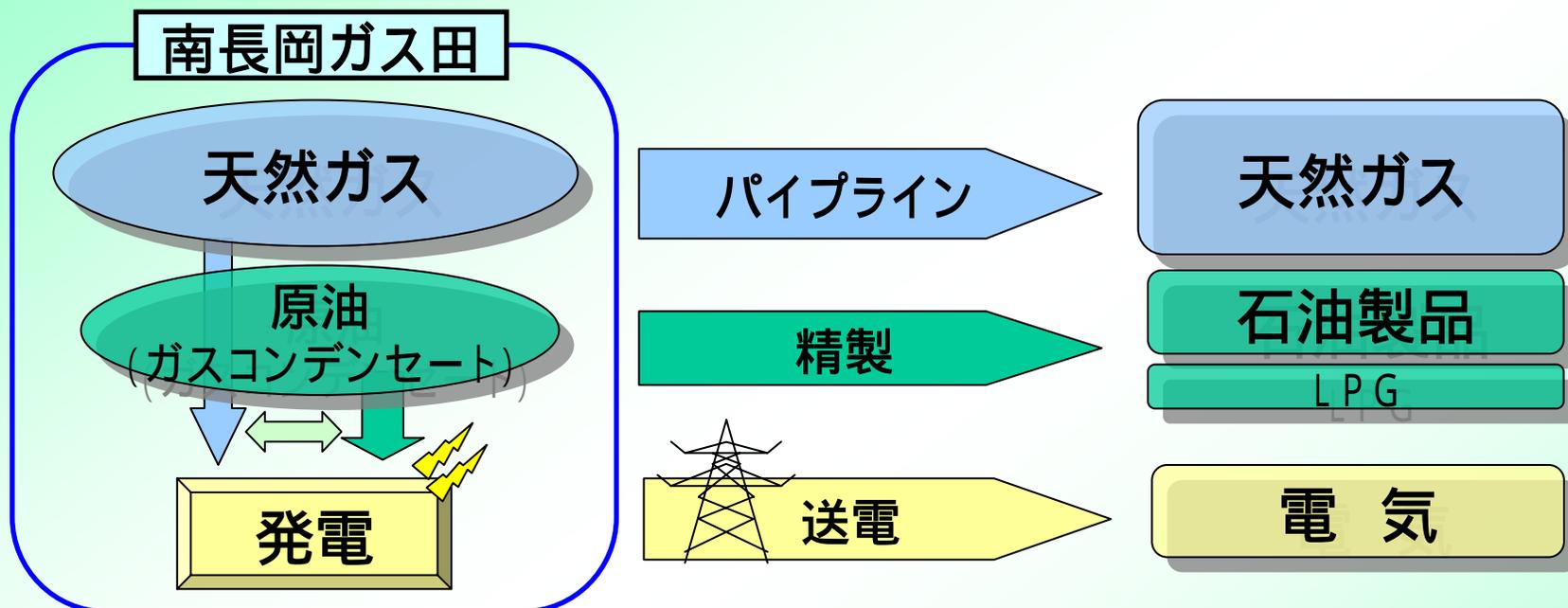
Figure 1.0



イースト・グアリコ 生産量

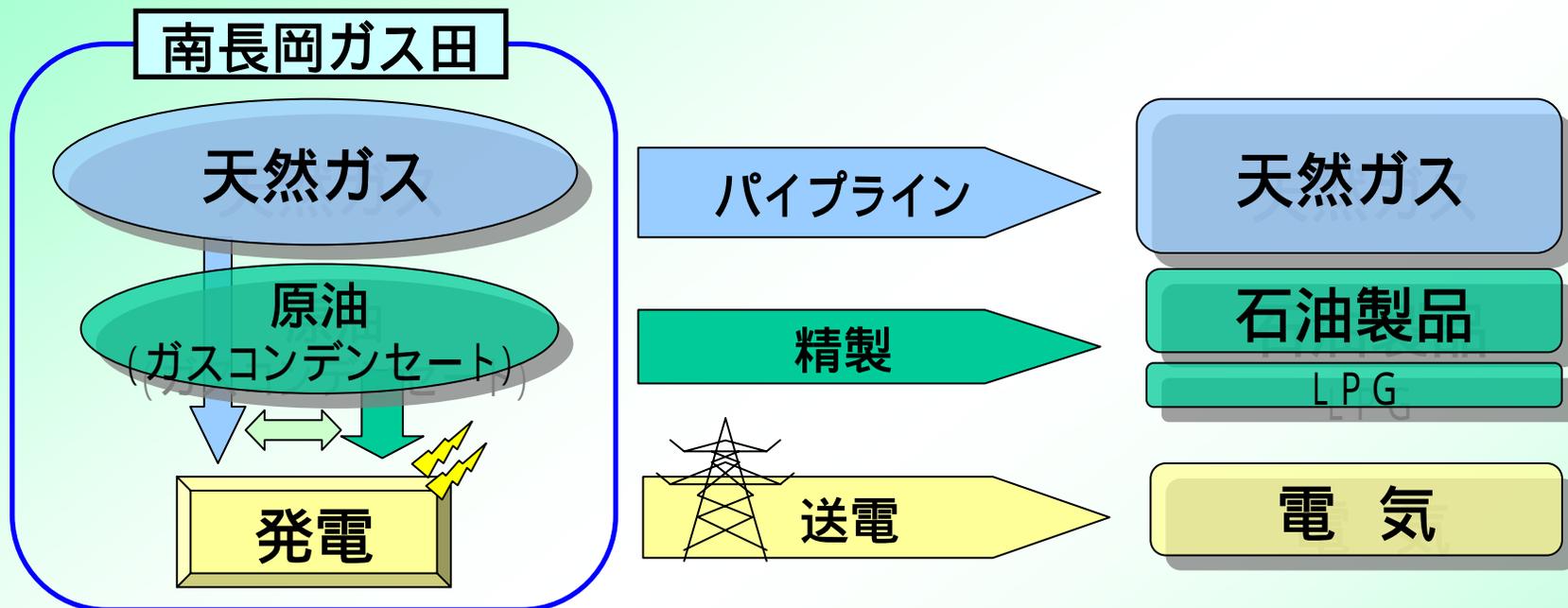


発電事業への参入1



- | | | | |
|---------|-----------------------|-------|---------|
| ・立地 | 越路原プラント敷地内 | ・発電規模 | 約5万5千kW |
| ・発電方式 | 高効率ガスタービンコンバインドサイクル発電 | | |
| ・燃料 | 天然ガス及びガスコンデンセート | | |
| ・電力販売先 | 新日本製鐵(株)(PPS) | ・総事業費 | 約50億円 |
| ・運転開始時期 | 2005年10月予定 | | |
| ・事業主体 | 当社単独100%(事業部門を設置) | | |

発電事業への参入2



事業の特長

- ・山元に立地・・・安定的かつ切替え可能な燃料
経済性向上
- ・事業環境変化への対応能力、強靭性向上

今後の展開

- ・同規模一列の増強計画